

12月1日は「世界エイズデー」です。



平成28年度 エイズポスターコンクール
中学生の部 一席 徳永華佳さんの作品

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

愛知県では世界エイズデーを含む一週間を「エイズ予防強化週間」と位置づけ、12月2日(土)には、イオンモール東浦店でエイズ予防強化週間ポスター入賞作品の展示などエイズキャンペーンを実施します。

HIV(エイズの原因となるウイルス)に感染しても、適切な治療を受けることで、社会生活を続けていくことができます。



○一人一人の心に「レッドリボン」を

「レッドリボン」は、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。現在はUNAIDS(国連合同エイズ計画)のシンボルマークにも採用されている、エイズに対する理解と支援の象徴です。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

よくある誤解・思い込み

- 握手や会話で感染する。
- お風呂やプールと一緒にいると感染する。
- せきやくしゃみで感染する。
- 便座や食器、タオルなど日用品の共用で感染する。
- 血を吸った蚊やダニなどに刺されることで感染する。

正しい知識

- HIVの感染経路は性的接触、血液感染、母子感染の3つに限られ、日常生活の接触では感染しません。
- 治療薬の開発により、HIVに感染しても、早期発見と早期治療によって、エイズの発症を抑えることができます。
- 近年は、性的接触での感染が増えています。特定のパートナーであっても、感染のリスクがないとは限りません。HIVはだれにとっても身近な問題です。

教育キャンペーン展開中！

いじめ防止

～自他の命を大切にし、多様な人々の存在を尊重しよう～

愛知県教育委員会では、平成28年2月に策定した「あいちの教育ビジョン2020」に基づき、毎年度、幅広い視点から重点的に取り組むテーマを設定し、家庭・地域・学校による取組が一層推進されるよう図っています。

今年度の重点テーマは、昨年度に引き続き「いじめ防止 ～自他の命を大切にし、多様な人々の存在を尊重しよう～」と定め、各学校や市町村教育委員会を中心にキャンペーン活動を展開しています。



啓発資料(ポケットティッシュ)のイラスト
【愛知県教育委員会作成】

学校では、「人権集会」を開催する際に、児童・生徒や参加者のPTAに啓発資材を配付したり、各地域では、地域行事の中でいじめ問題を取り上げて、啓発資材を配布したりしております。社会総がかりでいじめを防ぐ気運の醸成に取り組んでいます。

いじめは、子どもの心身の健全な発達に重大な影響を及ぼす深刻な問題です。愛知県教育委員会では、子どもや保護者等がいじめの問題や子どものSOSについての相談ができるよう、夜間、休日を含めて24時間体制で電話相談を実施しています。いつでもご相談ください。

音声コード対応パンフレットです。

このコードを活字文書読み上げ装置に読みとらせることで、各紙面の主な内容について、音声を出力します。

